

関東天然瓦斯開発(株)決算説明会

(平成19年8月29日開催)

第146期中間
平成19年1月～6月



<http://www.gasukai.co.jp/>

本日の内容

1. 経営方針・経営計画
2. グループの概要
3. 連結決算
4. 個別決算

グループ経営理念・経営方針

グループ経営理念

天然ガスの生産と販売を中核に、
快適で豊かな生活の実現と社会の発展に貢献する

グループ経営方針

- ・ コンプライアンスの遵守
- ・ 環境との調和、品質と安全の確保
- ・ お客様満足の追求
- ・ 企業価値の向上
- ・ チャレンジする職場風土の実現

今後の展開 : ガス事業

< 外部環境 >

- ・エネルギー高価格化時代の到来
- ・エネルギーマーケットの変化
 - … 産業用・業務用分野における地球環境に配慮した天然ガスへの転換
 - … 家庭用分野におけるオール電化住宅の攻勢

< 今後の取り組み >

- ・環境と調和する生産により、長期安定的な供給が可能な国産天然ガスの優位性を活用する事業展開
- ・千葉県産天然ガスを中心に、BOGやオフガス、LNGなどの多様なガス源を、需要に応じたベストミックスにより新規の需要を開拓・拡販

今後の展開 : ガス事業-2 (BOG)

BOGの概要

- ・購入先: 東京電力、東京瓦斯
- ・購入量: 最大日量48万 m^3 (1.8億 m^3 / 年 当社の年間生産量) の購入が可能
- ・県産ガスとほぼ同様の性状であり、既存のグループ12Aネットワークに流入可能
- ・需要変動に応じた受入が可能

(袖ヶ浦臨海ライン参考図)



今後の展開

- ・将来の都市ガス需要増に対し、更なる安定供給が実現
- ・将来的な需要増にも、これまで以上に積極的な対応が可能
- ・受入の量的制約がほとんどないため、需要変動をBOGに担わせることで県産ガスの効率的な生産にも寄与
- ・今後の需要増に柔軟に対応するため、グループのパイプラインネットワーク整備にも取り組む

今後の展開 : ヨード・かん水事業

< 外部環境 >

- ・需要が国際的に拡大基調
- ・製品開発研究においては、概ね欧米が先行
- ・偏光フィルム(液晶ディスプレイの部材)関連技術は日本が先行

< 今後の取り組み >

- ・生産体制の合理化と供給力の向上・・・同業他社との連携強化
- ・新規利用分野の開拓や高付加価値化を目指した研究開発活動

日本天然ガス株式会社の子会社化

〔会社の概要〕

- ・商号：日本天然ガス株式会社
- ・本社：東京都中央区日本橋本町四丁目15番11号
- ・事業内容：天然ガスの採取・販売
ヨード、ヨード化合物の製造・販売
- ・業績：売上高 28億73百万円（平成19年3月期）
経常利益 4億91百万円（同上）
当期純利益 2億98百万円（同上）

〔株式取得概要〕

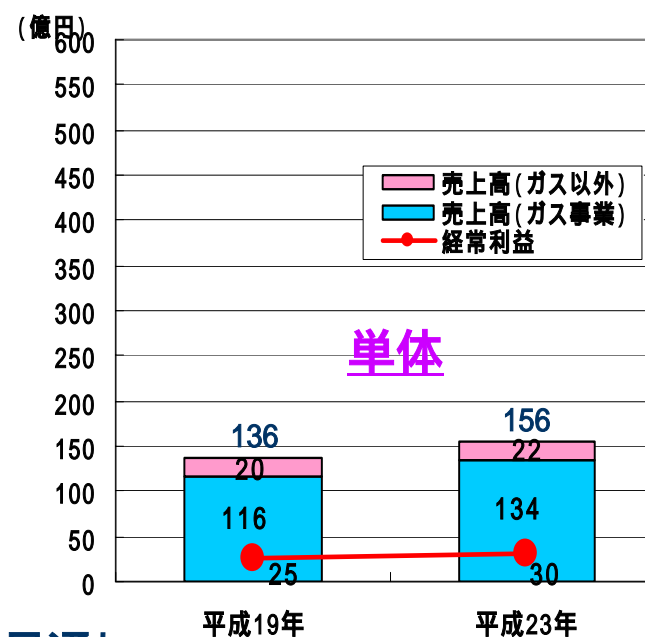
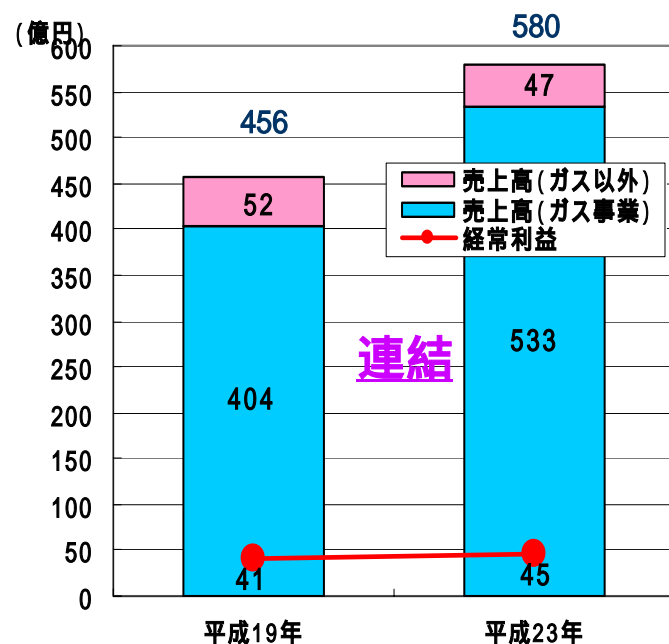
- ・取得日：平成19年4月10日
- ・取得状況：異動前2,980千株（49.66%、持分法適用関連会社）

異動後3,100千株（51.66%、連結子会社）

〔子会社化の効果等〕

- ・当社事業との更なる一体運営により、今後の両社の業績向上をはかる

平成23年の収支見通し (平成19年2月28日説明会資料)



H23見通し

連結売上高 580億円 (H19比 27.2%増)
連結経常利益 45億円 (H19比 9.8%増)
連結設備投資 5年間で200億円
連結ガス販売量 12.0億³m

単体売上高 156億円 (H19比14.7%増)
単体経常利益 30億円 (H19比20.0%増)
単体設備投資 5年間で88億円
単体ガス販売量 3.4億³m

配当政策

【基本方針】

長期的な安定配当と内部留保の充実

- ・景気変動に左右されにくい収益構造
- ・資源の安定供給のための内部留保の重要性
- ・内部留保資金は生産・輸送設備等への投資や採取技術の研究開発に充当

【19年配当】

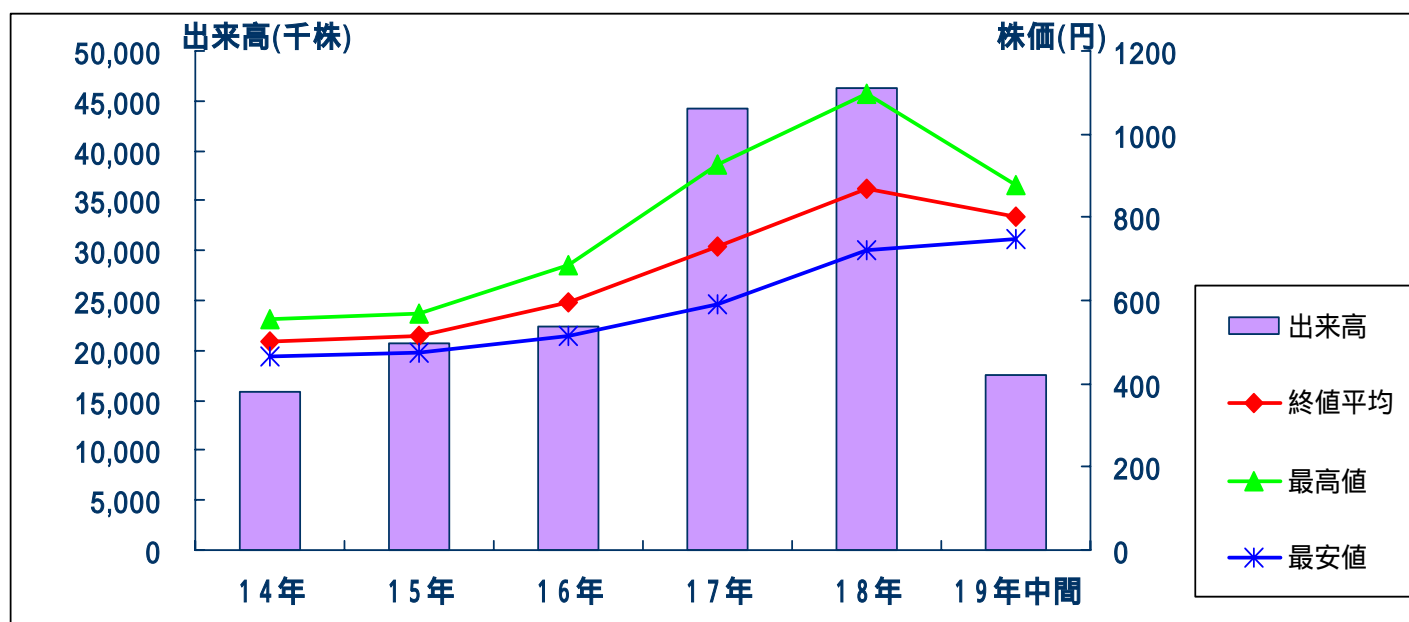
年10円/株の配当を予定

- ・8月17日の取締役会で5円/株の中間配当を決議

【1株当たり当期純利益 / 配当性向】

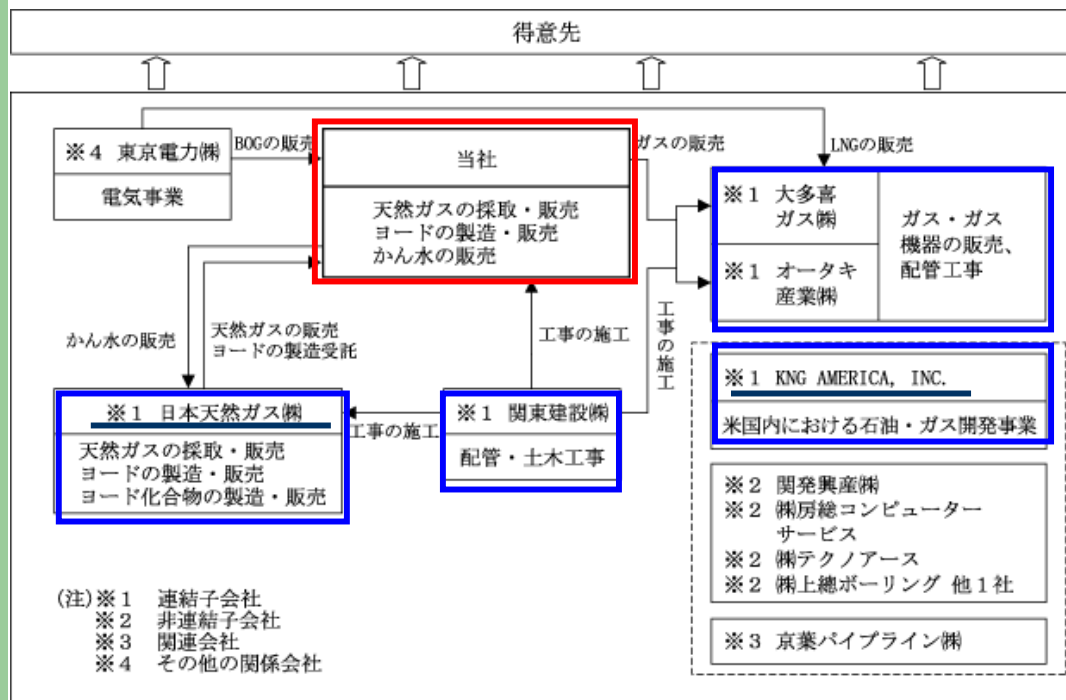
16年	22.58円	31.0%
17年	23.65円	42.3% (従来の普通配当の年7円/株に加え、3円/株の創業75周年記念配当を実施)
18年	31.37円	31.9% (年10円/株の普通配当を実施)
19年予想	25.93円	38.6%

参考：株価および出来高の推移



	14年	15年	16年	17年	18年	19年中間
最高値	556	567	684	925	1,099	(2/26) 879
最安値	464	476	513	591	722	(5/25) 746
終値平均	502	513	594	732	869	801
出来高	15,861	20,698	22,301	44,276	46,199	17,566

関東天然瓦斯開発(株)グループ



当中間連結会計期間より連結子会社が
2社増加

KNG AMERICA, INC. H19.1 ~
(従来は非連結子会社)

日本天然ガス H19.4 ~
(従来は持分法適用関連会社)

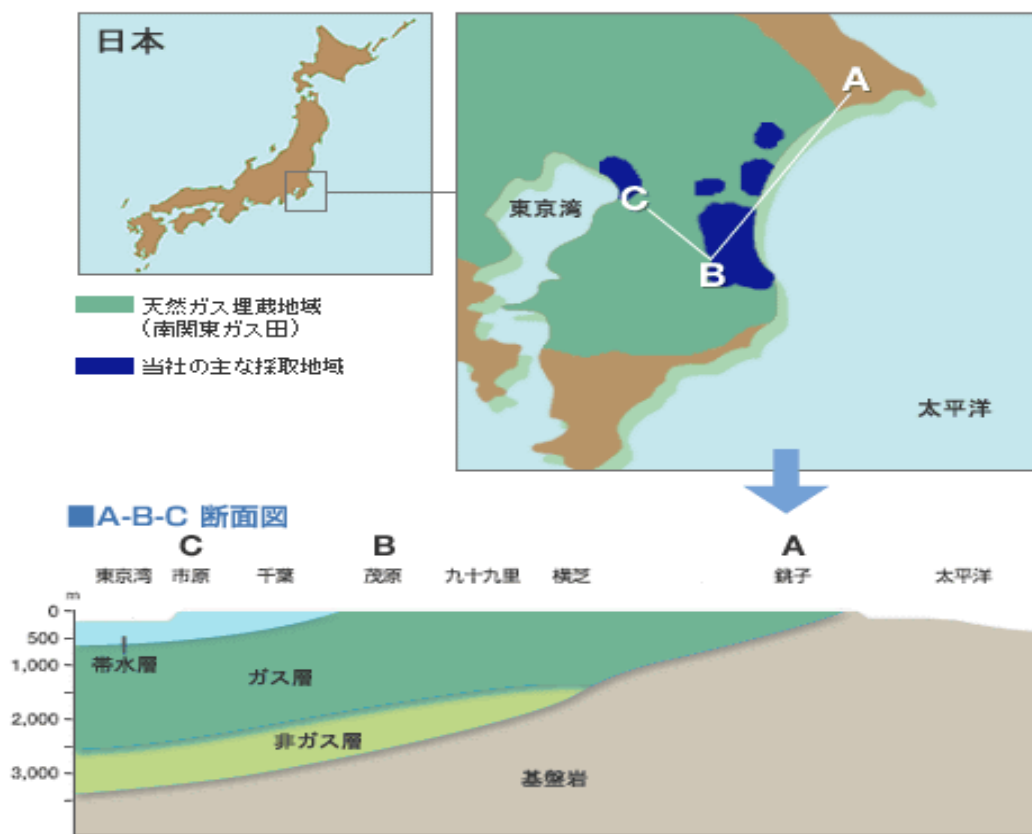
各社の事業展開(セグメント別)

(グループ各社) (セグメント)	関東天然瓦斯開発	大多喜ガス	オータキ産業	関東建設	日本天然ガス	KNG - A
ガス事業	天然ガスほか	都市ガス	圧縮天然ガス・LPG		天然ガス	
ヨード・かん水事業	ヨード	かん水			ヨード・ヨード化合物	
建設事業		ガス工事	ガス工事	土木建設		
その他の事業		ガス機器販売	ガス機器販売		化学品	米国石油・ガス開発事業

非連結子会社・関連会社は除く

ガス ~ グループ内で上流から下流まで一貫したサービスを提供

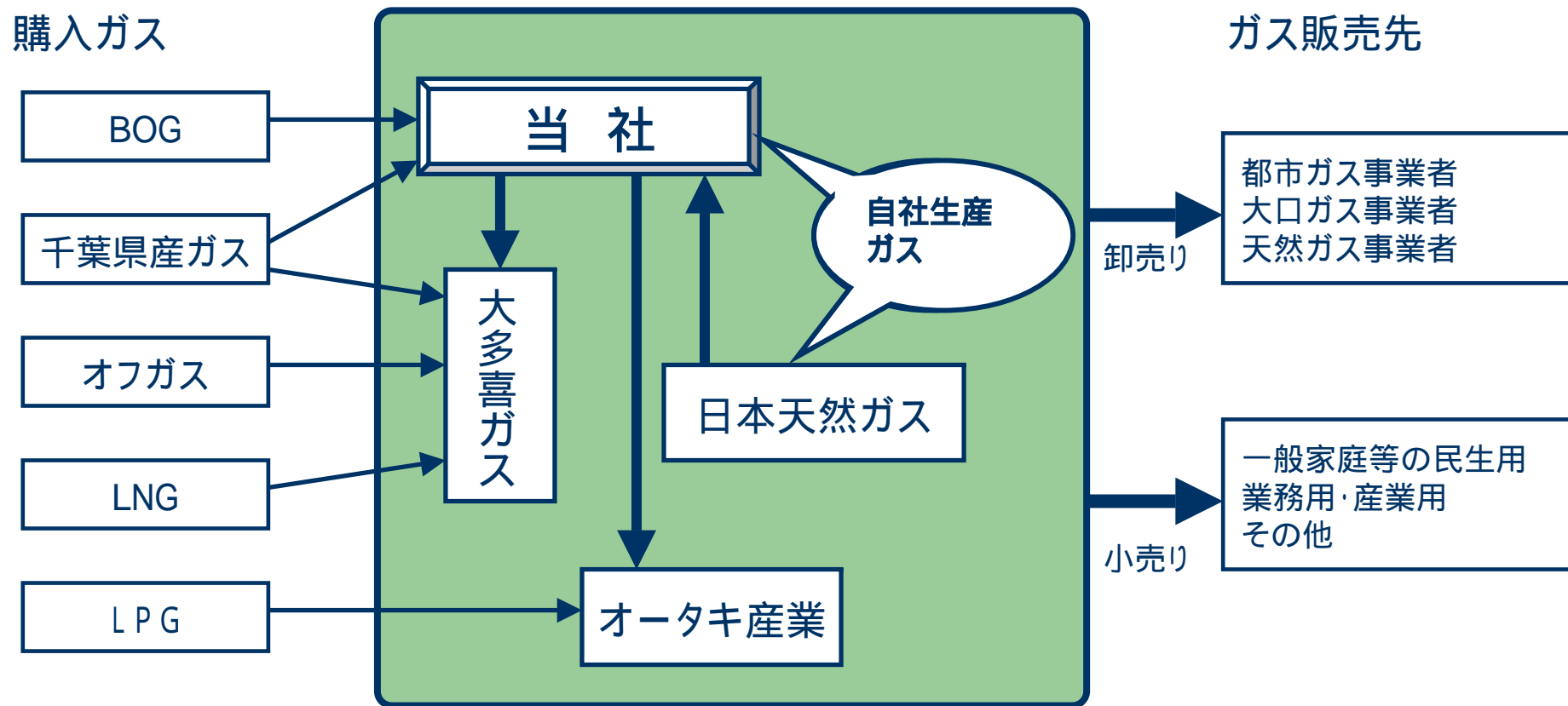
関東天然瓦斯開発の主な採取地域



大多喜ガスの供給区域

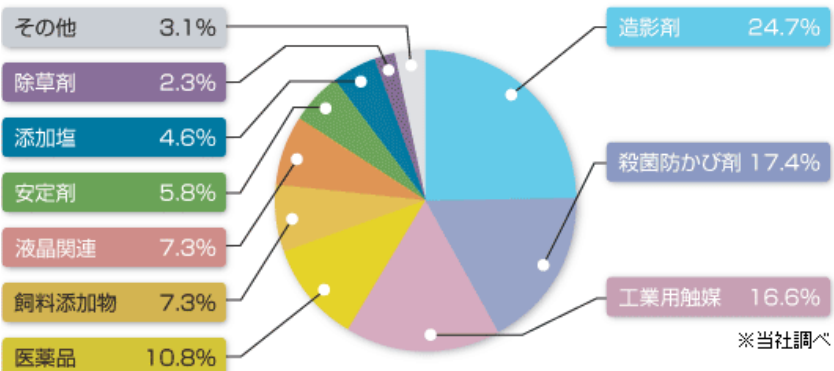


グループガス事業相関図



ヨード ~ ガス採取後のかん水からの貴重な資源

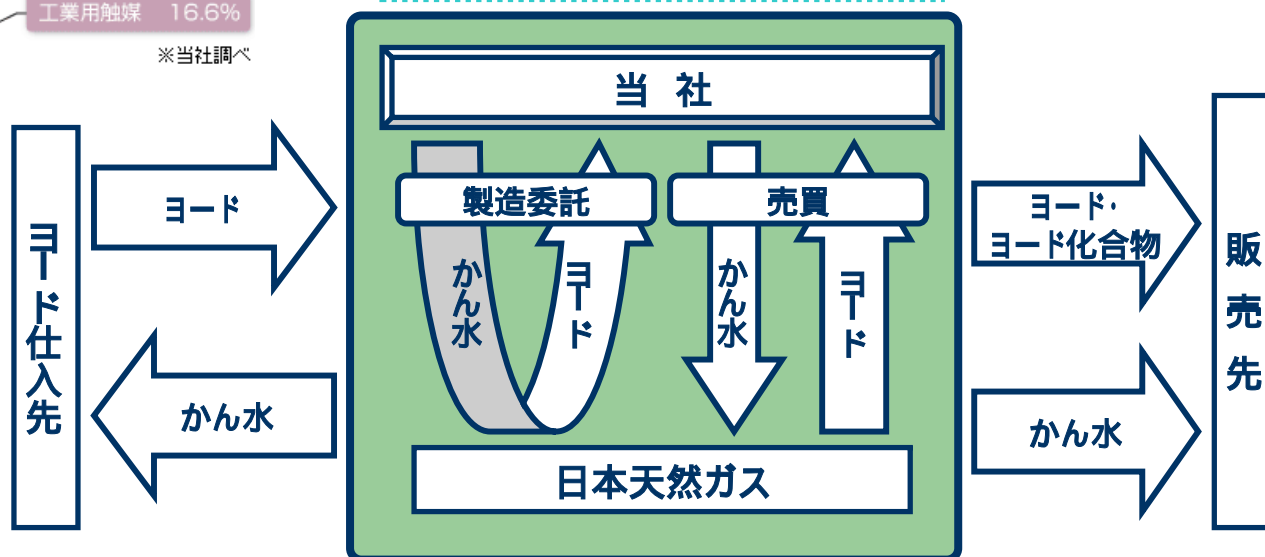
世界の用途別ヨード需要 (2006年)



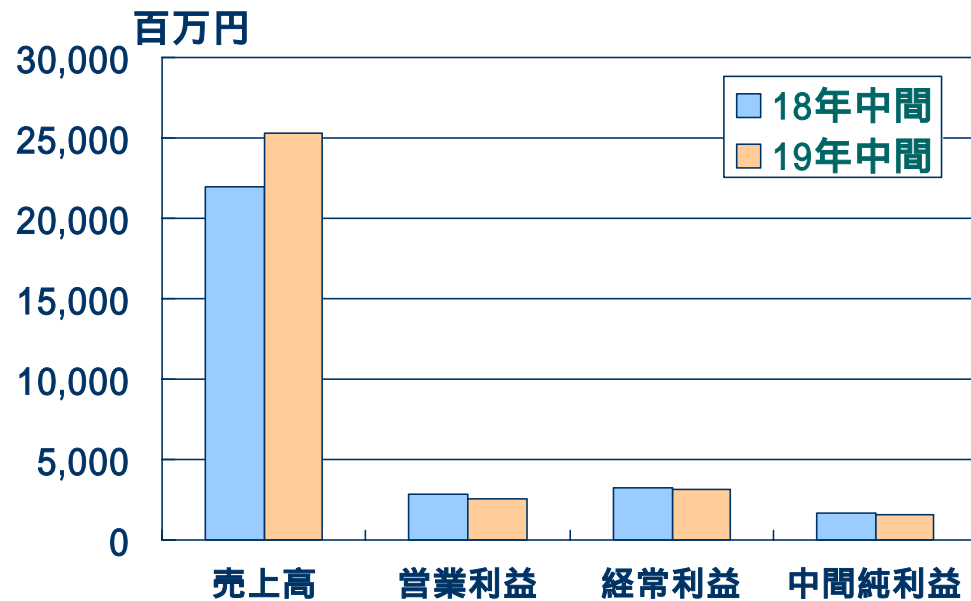
精製ヨード

日本は世界生産量の約3割
千葉県ではそのうち約8割を生産

グループ ヨード・かん水事業関連図



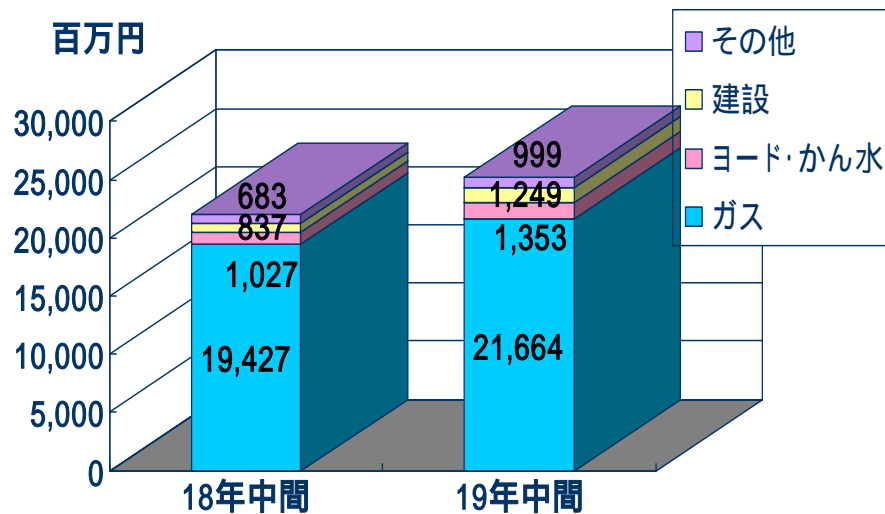
平成19年中間決算



単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
18年中間	21,975	2,833	3,229	1,683
19年中間	25,267	2,558	3,176	1,542
対前年比(%)	15.0	9.7	1.6	8.4
年初見込	24,150	2,300	2,750	1,350

セグメント別売上高



単位:百万円

	18年中間	19年中間	比較増減	18年
ガス	19,427	21,664	2,236	37,273
ヨード・かん水	1,027	1,353	326	2,034
建設	837	1,249	412	1,906
その他	683	999	316	1,393
合計	21,975	25,267	3,292	42,608

主な変動要因

ガス事業 大幅増

- ・大口需要の増加
- ・輸入エネルギー価格の影響による販売価格の一部上昇
- ・家庭用等の販売量減少(暖冬の影響)

ヨード・かん水事業 大幅増

- ・日本天然ガス連結子会社化の影響
- ・旺盛な需要による販売価格の上昇
- ・為替:上期実績119円/\$ (前年同期114円/\$)

建設事業

- ・厳しい環境のなか、受注獲得に努める

その他の事業

- ・KNG-A連結子会社化の影響
- ・大型物件向け空調機器の販売増

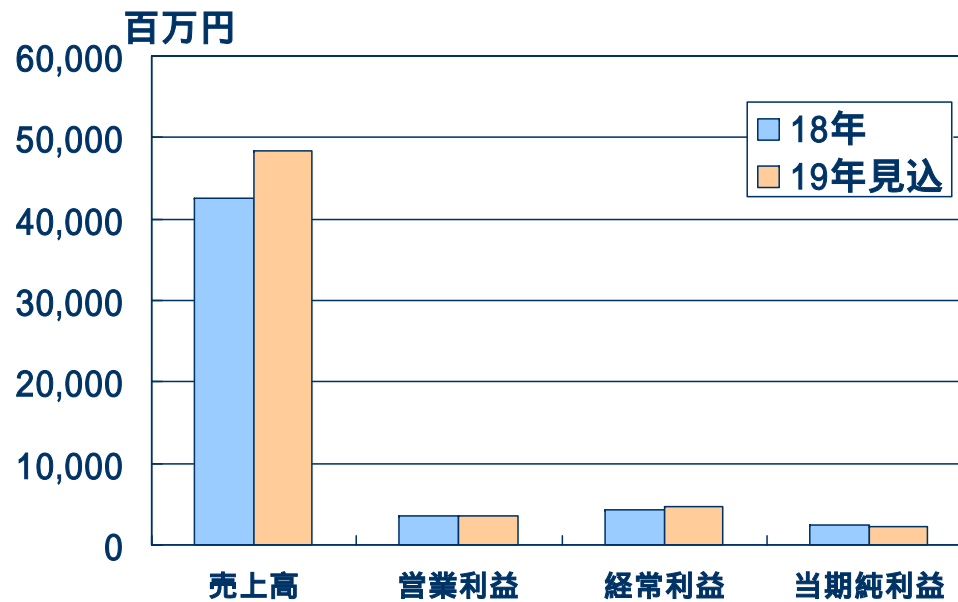
中間貸借対照表内訳

- ・連結子会社増加の影響・流動資産の有価証券、有形固定資産の機械装置・土地
固定負債の繰延税金負債
- ・利益剰余金：当期純利益の計上により増加

単位：百万円

	18年12月	19年6月	増減額	うち新規連結 影響額		18年12月	19年6月	増減額	うち新規連結 影響額
流動資産	18,684	20,914	2,229	(1,838)	流動負債	10,139	10,433	293	(1,283)
					固定負債	7,332	8,918	1,586	(1,362)
					負債合計	17,472	19,352	1,879	(2,645)
固定資産	55,570	59,380	3,809	(2,994)	株主資本	46,825	48,346	1,520	(349)
					資本金	7,902	7,902	-	
					資本剰余金	8,262	8,262	0	
					利益剰余金	35,800	37,324	1,523	
					自己株式	5,139	5,142	3	
					評価・換算差額等	3,143	3,062	80	(537)
					少数株主持分	6,813	9,533	2,719	(2,376)
純資産合計	56,782	60,942	4,159	(2,188)					
資産合計	74,255	80,294	6,039	(4,833)	負債純資産合計	74,255	80,294	6,039	(4,833)

平成19年収支見込



年初見込からの変動

売上高 増加

- ・大口ガス需要の増加
- ・輸入エネルギー価格の影響によるガス販売価格の一部上昇
- ・連結子会社増加によるヨード売上増

経常利益 増加

- ・連結子会社増加の影響
- ・受取利息等増加

中間純利益 減少

- ・固定資産除却損等の計上

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
18年	42,608	3,606	4,257	2,365
19年見込	48,450	3,500	4,600	2,200
対前年比(%)	13.7	2.9	8.1	7.0
年初見込	45,600	3,200	4,100	2,100

セグメント別売上

単位：百万円

	18年	19年見込	比較増減
ガス	37,273	41,700	4,426
ヨード・かん水	2,034	3,200	1,165
建設	1,906	1,850	56
その他	1,393	1,700	306
合計	42,608	48,450	5,841

主な変動要因

ガス事業 大幅増

- ・大口需要の増加
- ・輸入エネルギー価格の影響による販売価格の一部上昇

ヨード・かん水事業 大幅増

- ・日本天然ガス連結子会社化の影響
- ・旺盛な需要による販売価格の上昇

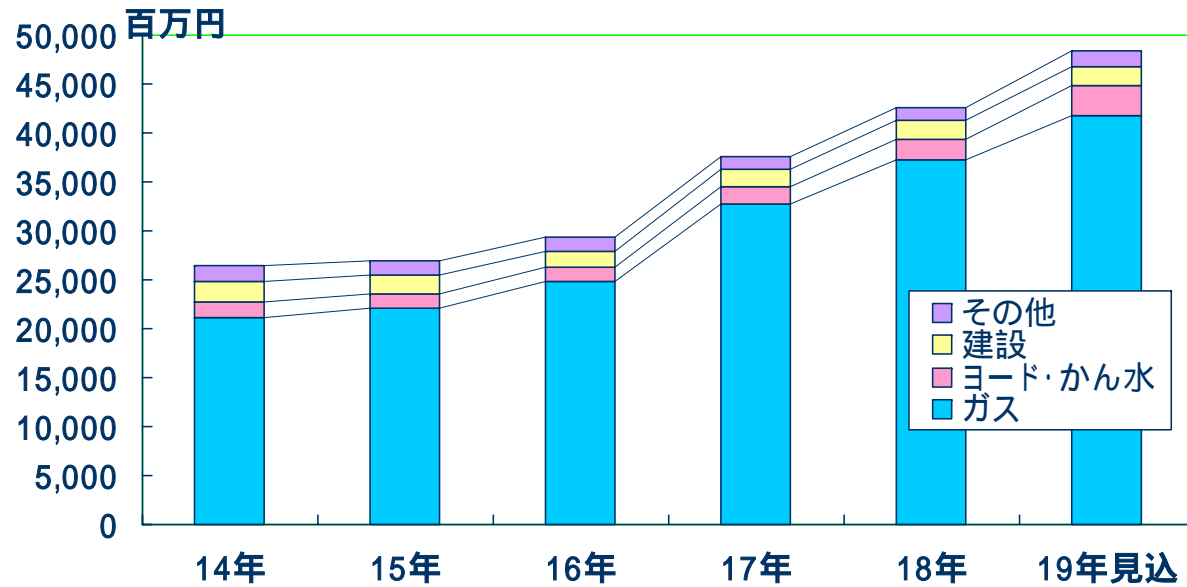
建設事業 減少

- ・引き続き厳しい受注環境

その他の事業 増加

- ・KNG-A連結子会社化の影響

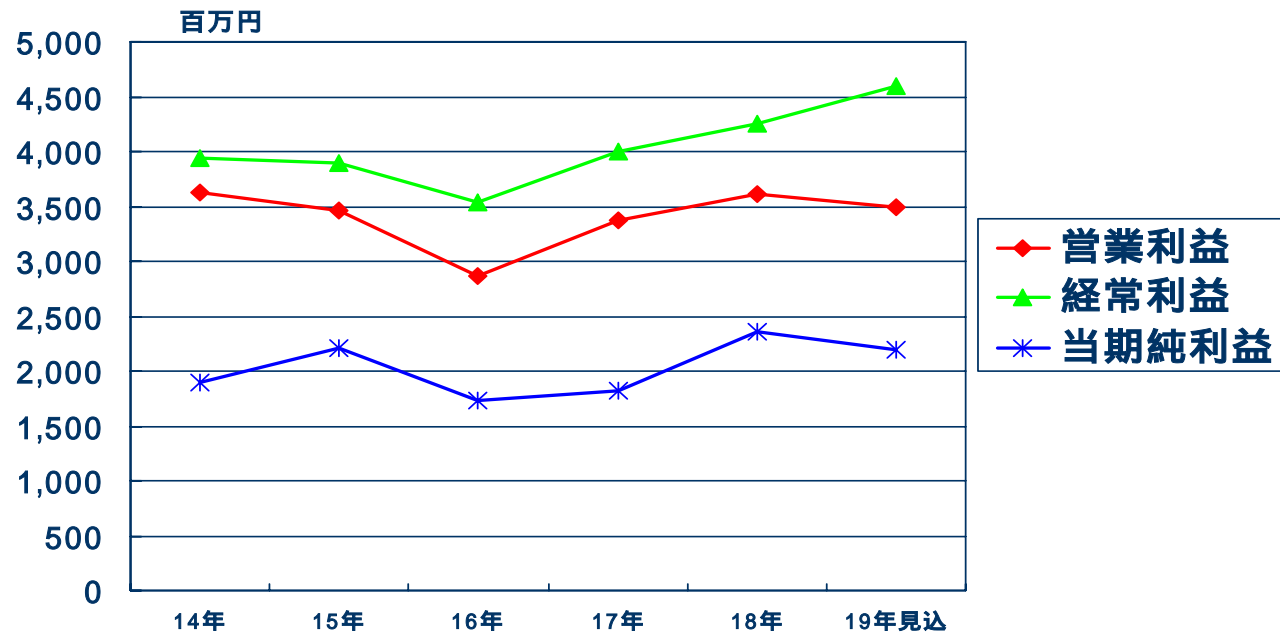
売上高の推移



単位: 百万円

区分	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年	第146期 19年見込
売上高 ガス	21,196	22,152	24,868	32,691	37,273	41,700
ヨード・かん水	1,585	1,367	1,426	1,755	2,034	3,200
建設	2,084	1,910	1,676	1,919	1,906	1,850
その他	1,564	1,433	1,409	1,267	1,393	1,700
合計	26,431	26,863	29,381	37,633	42,608	48,450

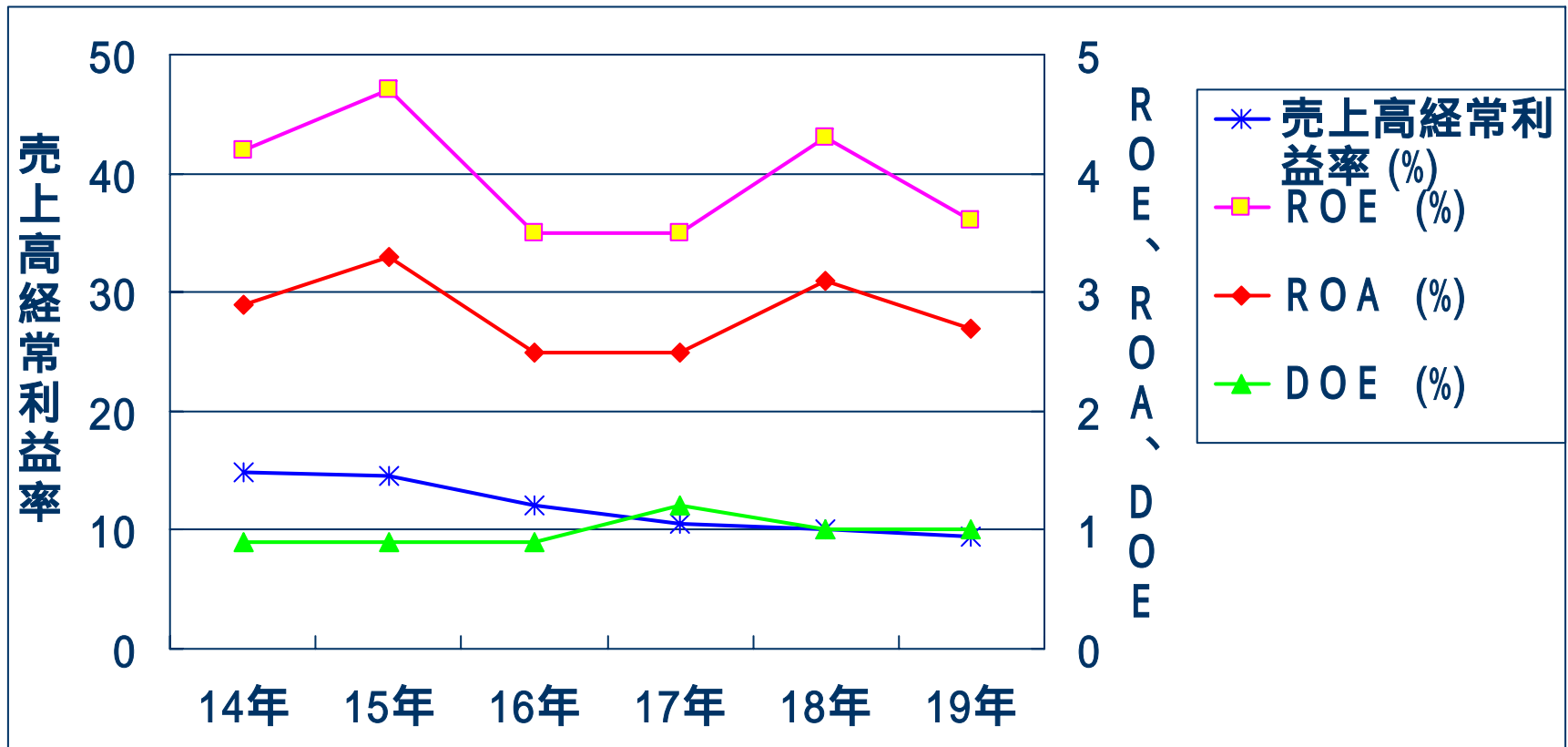
利益の推移



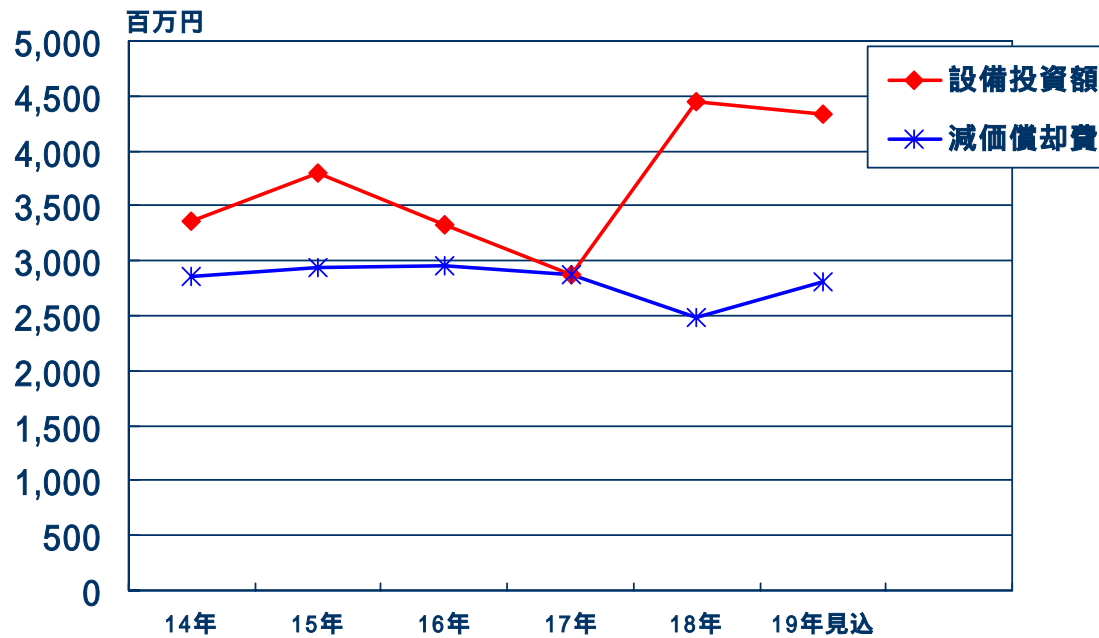
単位: 百万円

区 分	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年	第146期 19年見込
営業利益	3,630	3,459	2,871	3,377	3,606	3,500
経常利益	3,941	3,896	3,530	3,995	4,257	4,600
当期純利益	1,897	2,209	1,732	1,816	2,365	2,200

指標の推移



設備投資・減価償却費の推移



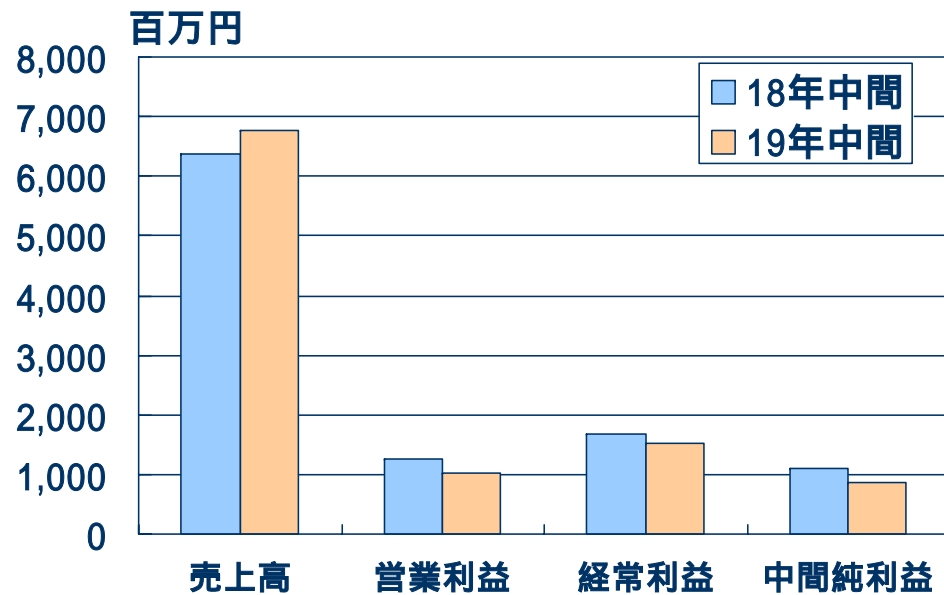
主な設備投資(19年)
 ガス井戸掘削計画
 ・生産井:1坑(下期着手)
 ・還元井:1坑(上期完成)

パイプラインの敷設工事

単位:百万円

区 分	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年	第146期 19年見込
設備投資額	3,368	3,800	3,335	2,875	4,440	4,340
減価償却費	2,850	2,941	2,959	2,870	2,476	2,810

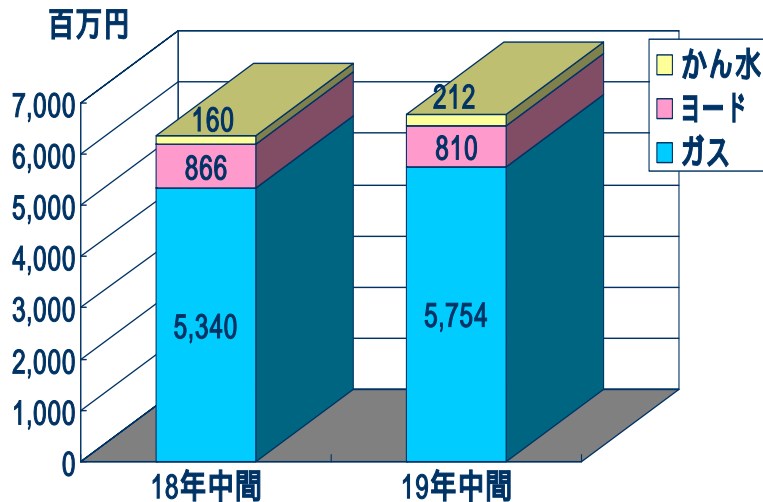
平成19年中間決算 < 個別 >



単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
18年中間	6,367	1,247	1,678	1,104
19年中間	6,777	1,028	1,525	859
対前年比 (%)	6.4	17.6	9.1	22.1
年初見込	6,950	900	1,300	800

部門別売上高 < 個別 >



単位: 百万円

	18年中間	19年中間	比較増減	18年
ガス	5,340	5,754	413	10,481
ヨード	866	810	56	1,710
かん水	160	212	52	323
合計	6,367	6,777	410	12,515

主な変動要因

ガス 増加

- ・都市ガス向けを中心とした販売量の増加

ヨード 減少

- ・出荷タイミングの下期へのずれ込みによる、販売量の減少
- ・為替は円安: 上期実績119円/\$ (前年同期114円/\$)

かん水 増加

- ・販売量は前期並
- ・ヨード価格上昇の影響による販売価格の上昇

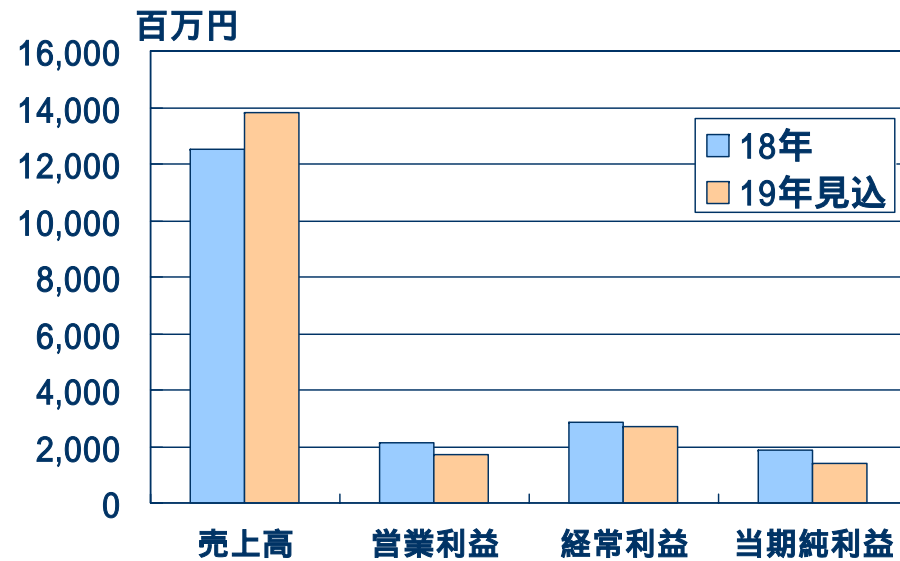
中間貸借対照表内訳 < 個別 >

- ・固定資産：投資その他の資産・主に債券の購入および時価評価による増加
- ・利益剰余金：当期純利益の計上により増加

単位：百万円

	18年12月	19年6月	増減額		18年12月	19年6月	増減額
流動資産	8,973	8,696	277	流動負債	4,015	3,176	838
				固定負債	4,867	5,204	336
固定資産	41,056	41,864	807	負債合計	8,882	8,380	502
				株主資本	38,514	39,098	583
				資本金	7,902	7,902	-
				資本剰余金	8,240	8,240	0
				利益剰余金	27,508	28,098	589
				自己株式	5,136	5,142	6
有形固定資産	14,120	13,867	253	評価・換算差額等	2,633	3,082	448
無形固定資産	647	653	5	純資産合計	41,147	42,180	1,032
投資その他の資産	26,288	27,343	1,055	負債純資産合計	50,030	50,561	530
資産合計	50,030	50,561	530				

平成19年収支見込 < 個別 >



単位: 百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
18年	12,515	2,130	2,876	1,880
19年見込	13,800	1,700	2,700	1,400
対前年比 (%)	10.3	20.2	6.2	25.6
年初見込	13,600	1,600	2,500	1,500

部門別売上予想 < 個別 >

単位: 百万円

	18年	19年見込	比較増減
ガス	10,481	11,600	1,118
ヨード	1,710	1,800	89
かん水	323	400	76
合計	12,515	13,800	1,284

主な変動要因

ガス 大幅増

・都市ガス向けを中心とした需要の増加

ヨード 大幅増

・旺盛な需要による販売価格の上昇

為替見通し

上期実績: 119円/\$

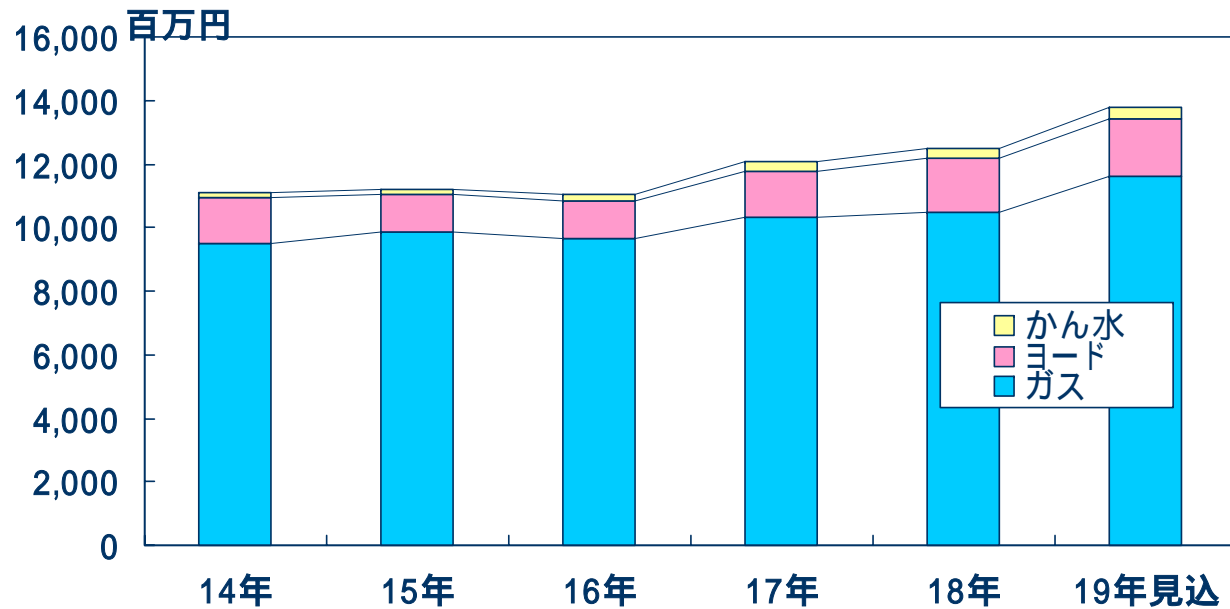
下期見込: 119円/\$

(年初見込: 118円/\$)

かん水 大幅増

・旺盛なヨード需要を反映した、販売価格の上昇

売上高の推移 < 個別 >



単位: 百万円

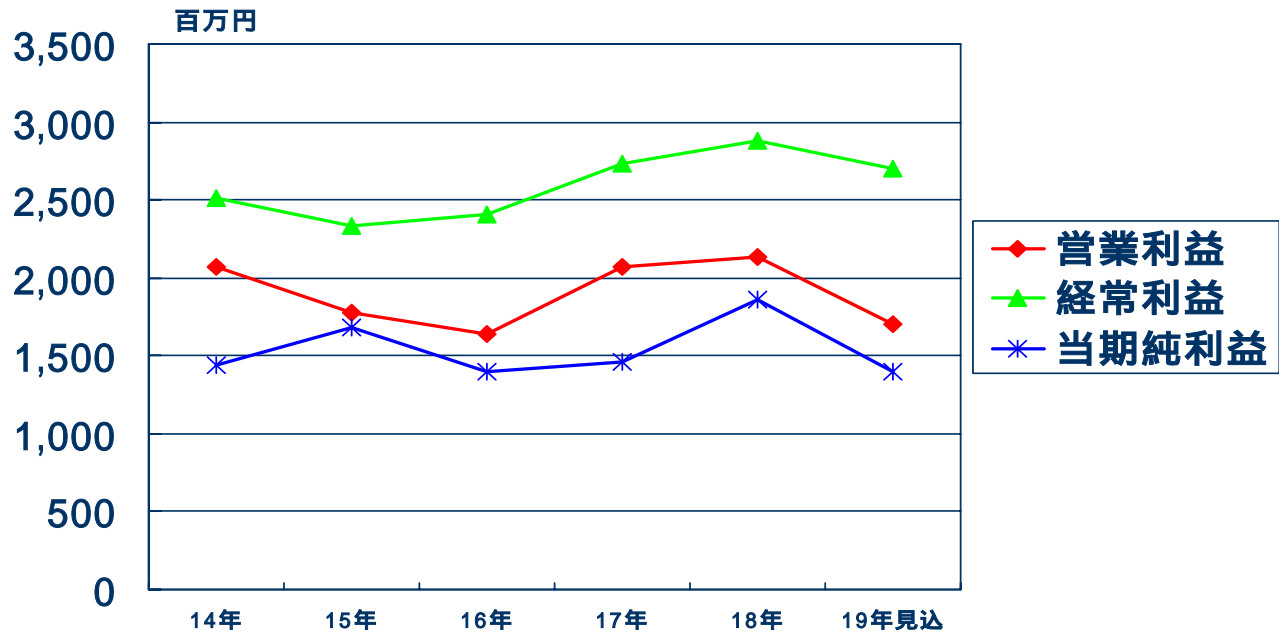
区 分		第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年	第146期 19年見込
売上高	ガス	9,514	9,854	9,629	10,323	10,481	11,600
	ヨード	1,427	1,215	1,223	1,452	1,710	1,800
	かん水	157	152	202	302	323	400
	合計	11,099	11,221	11,055	12,078	12,515	13,800

生産量・販売量の推移 < 個別 >

区 分		第142期	第143期	第144期	第145期	第146期	
		15年	16年	17年	18年	19年中間	19年見込
ガス	生産量(千m ³)	172,624	172,244	181,542	185,492	92,051	181,000
	販売量(千m ³)	280,437	277,860	291,593	292,353	158,289	316,000
ヨード	生産量(t)	743	630	403	402	198	380
	販売量(t)	934	896	947	968	435	950
かん水	生産量(千kl)	15,241	15,654	16,218	16,282	8,174	15,370
	販売量(千kl)	6,246	8,059	10,995	10,805	5,460	10,740

ガスは38.5MJ/m³換算

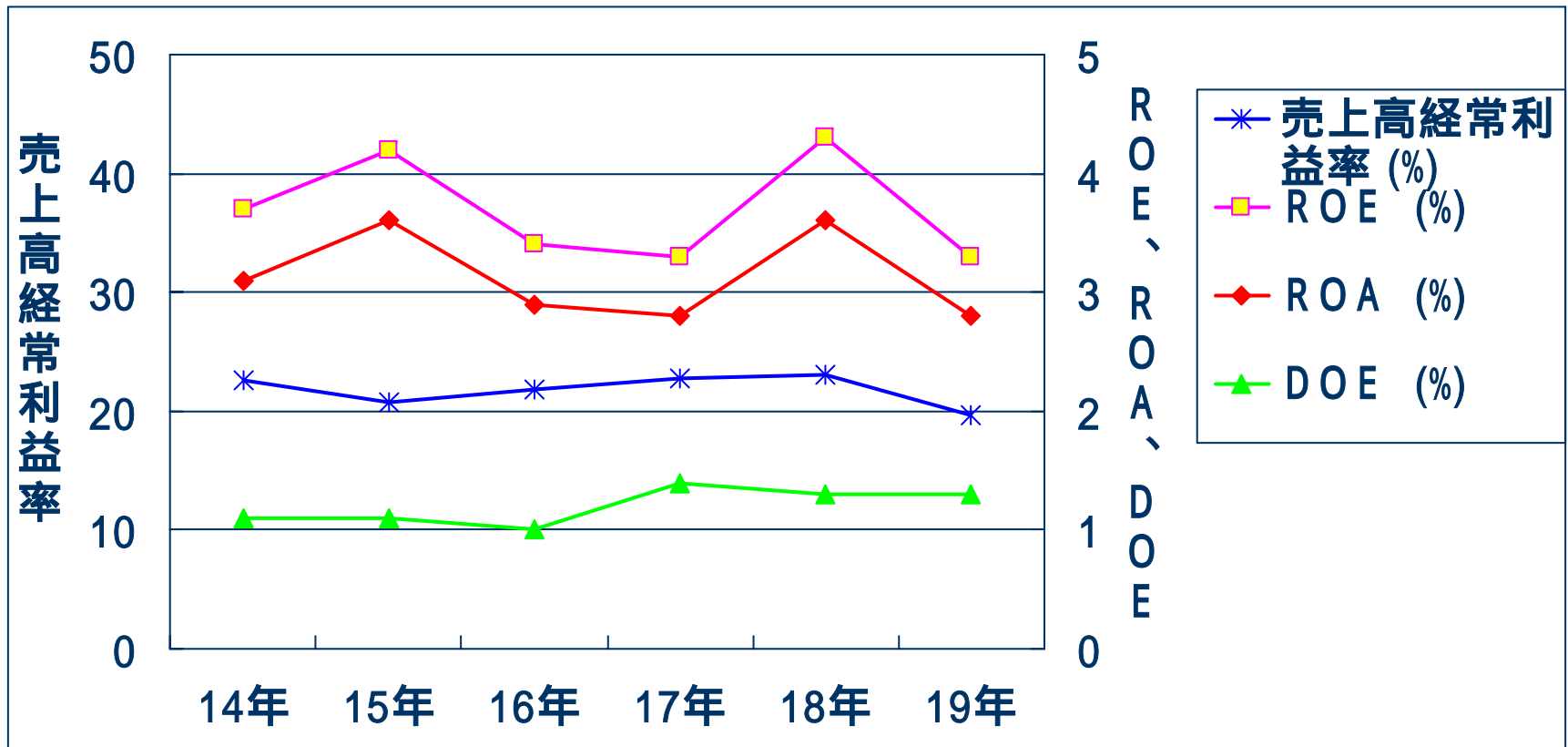
利益の推移 < 個別 >



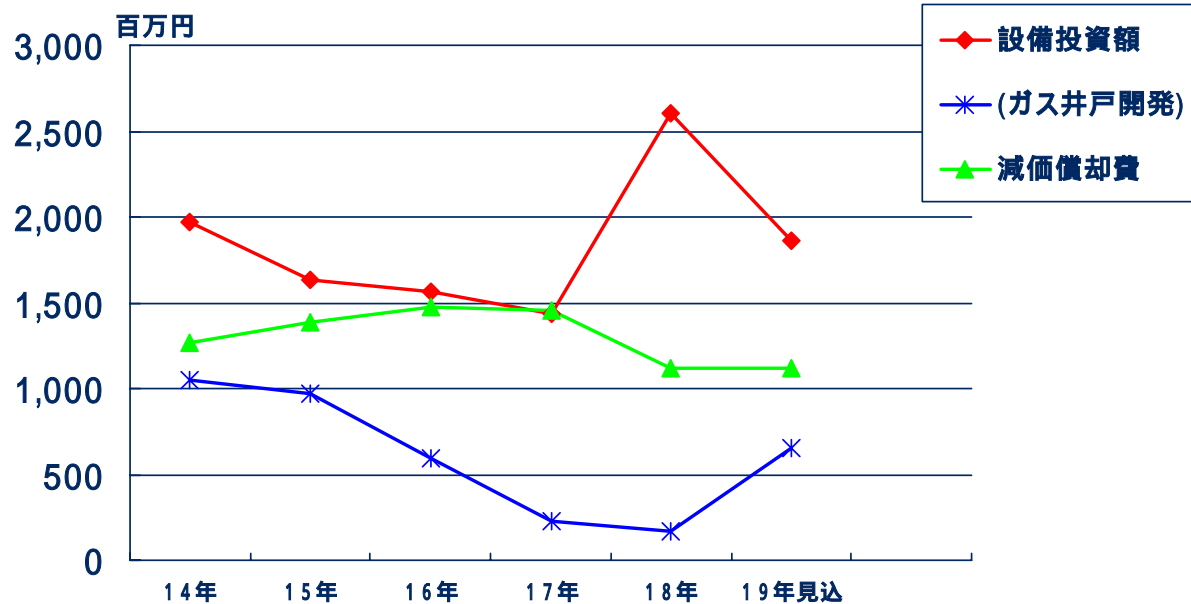
単位: 百万円

区 分	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年	第146期 19年見込
営業利益	2,069	1,773	1,643	2,070	2,130	1,700
経常利益	2,508	2,330	2,411	2,737	2,876	2,700
当期純利益	1,438	1,679	1,397	1,461	1,880	1,400

指標の推移 < 個別 >



設備投資・減価償却費の推移 < 個別 >



主な設備投資(19年)
 ガス井戸掘削計画
 ・生産井:1坑(下期着手)
 ・還元井:1坑(上期完成)

パイプライン敷設工事

単位: 百万円

区分	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年	第145期 18年	第146期 19年見込
設備投資額	1,969	1,632	1,569	1,436	2,603	1,860
(ガス井戸開発)	1,052	974	597	223	168	650
減価償却費	1,267	1,382	1,471	1,455	1,114	1,120



本日の説明は以上です
お越しいただきありがとうございました



関東天然瓦斯開発株式会社
Kanto Natural Gas Development Co., Ltd.